

はじめに

「医療の現場にユーモアを！」と考え、ずっと続く透析生活のなかにホッと心が和んだり、思わずフツと笑ってしまうような時が持てるようになって、私たちが最初の一步を踏み出したのは、2006年、スタッフ間で発足した「川柳同好会」でした。

それから4年。患者さまにも「川柳」や「笑い」を徐々に勧めると共に、みんなで笑い合い、癒し合い、励まし合えたらと願い「みんなで癒会」を立ち上げました。そして、「川柳」をはじめ「フラワーアレンジメント」や患者さまからお持ち頂いた作品の「展示」に至るまで、活動の輪を広げてきました。

2008年には、それまでの活動をまとめた「泣いて笑ってみんなで癒会」の第一集を発刊しました。発刊後、皆さまから「笑えた」「共感できた」「励まされた」などの感想のほか、「クリニックに来るとなんとなく落ち着く」「イライラする日が減った」「スタッフと患者との間に共通の話題があり会話が增えた」などの声も聞かれました。これは、私たちにあって大変嬉しい反応でありました。そして、この活動を行ってきて本当に良かったと感じています。